

旭子ども教室・禾一わくわくクラブ ～都留市～

《事業の目的》

放課後や休日の子どもの安全・安心な活動拠点を設け、子どもたちが様々な体験活動や交流活動を通して地域の大人と関わり合う中で、健やかに成長できる環境づくりを推進するとともに、地域の大人が「地域の子どもは地域で育てる」という理念を共有し、子どもたちを地域全体で支え、育てていくことを目的としています。

□ 特色

市内各地区に展開する「地域協働のまちづくり推進会」の中に「放課後子ども教室実行委員会」を位置づけ、地域の方々の協力を得て、6小学校区で子ども教室を実施しています。また、都留文科大学と連携し、学生がスタッフとして活動に参加したり、大学教員が講師を務める「子ども公開講座」を実施したりしています。

□ 教室の実施場所

旭子ども教室…盛里地域コミュニティセンター、与縄営農指導センター、畑など
禾一わくわくクラブ…禾生第一小学校、禾生地域コミュニティセンターなど

□ 教室の開催日

平日の放課後、休日、長期休業中など、令和2年度は年間各20回程度

□ 参加の対象者

旭子ども教室…旭小学校児童、禾生第一小学校の与縄地区在住児童
禾一わくわくクラブ…禾生第一小学校児童



□ 活動内容(主に令和元年度の活動の例)

【旭子ども教室】

- 地域の方々の協力を得て、畑をお借りし、さつまいもや大根などの野菜を作っています。収穫した野菜を使って、季節の料理やお菓子づくりもしています。昨年度は、さつまいもをシカやイノシシに食べられてしまいました。
- 「いーばしょ（高齢者の通いの場）」に参加するお年寄りと一緒に、工作や手芸などの活動を行っています。お年寄り子どもたちはみんな顔見知りです。

【禾一わくわくクラブ】

- 学生さんと一緒に小学校のグラウンドや体育館で自由遊び、地域の方々の協力を得て、特別教室で工作や手芸、料理や音楽活動を行っています。
- 老人クラブの皆さんと、薪割りや火おこしをして野外炊飯をしています。
- 学芸員の指導で学校近くの川へ行き、川の危険や安全を学ぶ体験をしています。

【各教室共通】

- 学童保育の子どもたちも一緒に活動しています。
- 夏休みなどには、大学生サークルが企画する野外活動やイベント、大学教員による陶芸教室や木工教室、理科の実験など、普段できない体験活動をします。



□ 成果と課題

☆成果

- 参加児童の満足度は高く、家庭で活動の様子を話したり、作った作品を見せたりして会話が広がっています。
- 地域の大人と子どもたちが顔見知りになり、活動以外の所でもあいさつや声掛けをする機会が増えています。
- 教員を目指す学生にとっても、子どもとふれあい、子どもの実態を知ることのできる貴重な場となっています。

★課題

- 参加児童数に対して地域の指導員やボランティアの人数が少なく、新たな人材の確保が課題です。
- 感染症予防対策のため、参加人数や活動内容を制限せざるを得ない状況です。